

2026年6月3日
UBE株式会社

リチウムイオン電池用セパレータ設備増強について

UBE株式会社（社長：西田祐樹、本社：東京都港区、以下「UBE」）とマクセル株式会社（社長：中村啓次、本社：東京都港区、以下「マクセル」）の合併会社である宇部マクセル株式会社（社長：中安哲夫、本社：京都府乙訓郡、以下「宇部マクセル」）は、車載用リチウムイオン電池の需要増大に対応するため、堺事業所内においてセパレータ原膜製造設備の新設を決定いたしました。

今回の新規設備建設計画は、2026年秋完工予定の堺事業所におけるセパレータ原膜製造設備に続くもので、2026年度中の第1期着工を決定し、さらに2029年度には第2期着工を予定しております。これらにより宇部マクセルのセパレータ原膜製造能力は、現行比で約50%増となります。



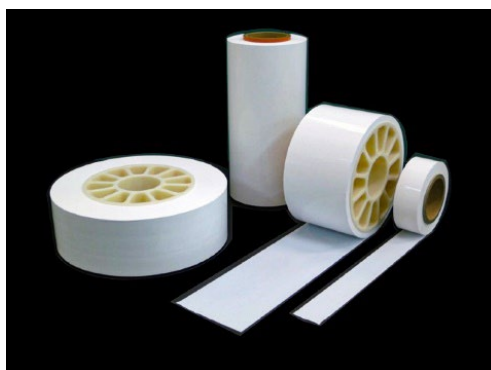
新設設備の完成予想図（提供：株式会社大林組）

世界的な脱炭素社会の進展に伴い、電動車（xEV）は中長期的に市場規模を広げており、リチウムイオン電池（LiB）の基幹部材であるセパレータの需要は引き続き拡大が見込まれています。

足元では、電気自動車（EV）市場の拡大に一部調整の動きが見られる一方で、ハイブリッド自動車（HV）を中心とした車載用途は堅調に推移しており、需要の底堅さが継続しています。

さらに、再生可能エネルギーの普及に加え、AIデータセンター等の電力需要増加を背景に、電力貯蔵システム（ESS）向けLiB需要が拡大しており、セパレータ市場は車載・非車載の両面で成長が期待されています。

宇部マクセルの乾式製法セパレータは、その機能と安全性から車載用LiBにおいて数多くの採用実績があり、今後もセパレータ需要の拡大にタイムリーに対応し、能力増強を図るとともに次世代xEVや非車載市場での用途展開を加速させ、事業拡大を目指してまいります。



セパレータ製品例

■宇部マクセル株式会社の概要

社名	宇部マクセル株式会社
所在地	京都府乙訓郡大山崎町小泉 1 番地
代表者	中安 哲夫
事業内容	リチウムイオン電池用セパレータに関わる生産、販売、技術開発及び研究開発
資本金	27 億 25 百万円
設立	2011 年 2 月
株主	U B E 株式会社 66.0%、マクセル株式会社 34.0%
URL	https://www.ube.co.jp/maxell/

以 上

<本件に関するお問合せ> U B E 株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

TEL: 03-5419-6110 E-mail : contact_pr@ube.com

<製品についてのお問合せ> 宇部マクセル株式会社 管理部

TEL: 075-275-0144